

上川北部地域リハビリテーション広域支援センター

①活動目標, 事業実績および予定, 活動の達成度

<活動目標>

安心して暮らせる街づくり（切れ目のない地域リハビリテーションの提供）を構築していけるよう、地域リハビリの知識・技術を高めること、地域連携を深めることを大きな柱とする。

<平成 22 年度 事業実績および予定>

- ・文書総会 1回 8月
- ・運営会議 4回
- ・部会会議 4回：研修会部会 8回：ネットワーク部会
- ・研修会 1回：研修会部会・保健所共催「高次脳機能障害講演会」
3回：ネットワーク部会・保健所共催「脳卒中リハビリを考える情報交換会」
- ・講師バンク 2回 名寄市内町内会依頼「高齢者の口腔・嚥下体操」講師：ST
美深町介護教室依頼「介助方法について」講師：OT
- ・その他 ブログの運営
上川北部保健医療福祉圏域連携推進会議
生活習慣病専門部会，歯科保健専門部会へ1名ずつ委員推薦

<活動の達成度>

- ・総会で承認された事業計画は、例年通り計画通り実施されている。
- ・逢坂先生の段階を引用するなら、現在5~6の段階にきている。

②問題点

- ・名寄・士別市内での活動が主であり，地方を含めた活動がしにくい。
- ・医療圏域内での病院各自の方向性が不明瞭になっている中で，地域連携を誰が中心に進めていくかまだ定まっていない。
- （結局は医師のリーダーシップや行政間の協力が大いに必要と感じる）
- ・今後の課題は，件域内の市町村が持っている地域特性を上手く捉えながら，時間はかかるだろうが，地域連携の考え方を浸透していきたい。

③地域住民に向けての活動内容

- ・たまたま，今回講師バンクの中で活動できた（2回）。
- ・今までは疾病を有する患者（住民）に対してのアプローチがメインであったが，今後は地域で暮らす高齢者をターゲットにした活動も考えられる。（介護予防事業等）

④他の圏域への質問事項

- ・市町村との連携はどのように行っているか？ また上手くいくコツなどあれば教えて頂きたい。

⑤特にアピールしたい活動

- ・昨年度より保健所と連携を取り，今年度は4回の研修会全て共催で実施している。
費用はほとんど保健所負担である。保健所との連携の部分では，協働でき良い関係が構築されていると考えている。